



将来のビジョンへ突き進もうと
挨拶する林社長＝大口市の同社で

林建設(株)(林隆秀社長、大口市)は12日、同社会議室で第1回OHSAS安全衛生大会を開き、同社及び(株)林運輸、大口生コンクリート(株)の社員約70人が参加して、より一層の管理システム向上にさらなる努力を重ねることを誓いあった。当日早朝には大会に先駆け、林社長をはじめとする幹部社員5人による安全パトロールも実施された。

OHSAS安全衛生大会 管理システムの向上誓う

林 建設

マネージメントシステムOHSASの取得を果たしたことをスタートに、より一層の管理システム向上に社員各々が努力し、今日の成果を明日からの現場に生かしてほしいと挨拶。早速大口警察署の山賀宏司課長代理が交通講話を行った。山賀課長代理は管内で今年、1日当たり2件の交通事故が頻発しており、また事故はちょっとした不注意から起こることを説明し、飲酒運転の怖さや交通弱者に配慮した運転を、などと訴えた。



作業後、写真に納まる学生ら＝菱刈町の現地で

鹿児島大学建築学科助手の徳田光弘氏ら共催の「土壁施工体験」がこのほど、伊佐郡菱刈町の美術家・竹之内直記邸で行われ、同大建築学科生ら約30人が参加して、現在では珍しくなった土壁造りを体験した。同企画に協力した竹之内氏は、版画から彫刻、インスタレーションなど芸術活動全般を行い、国内外で活躍している美術家。今回、本人が施工を進める自邸の外・内壁面を土壁にすることから、学生らに土壁造りを実際に体験してもらおうと自邸を提供した。

現場の土壁造りを体験

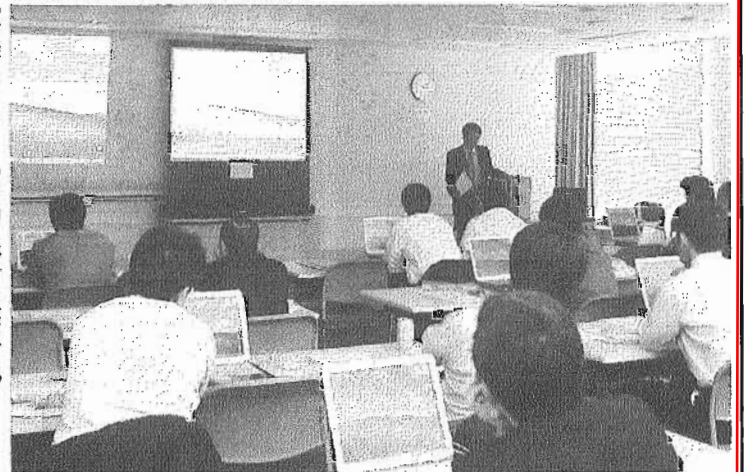
鹿児島大学建築学科生

土壁は、40～50年前までは民家などに普通に使用されていたが、石膏ボード等の普及や工期短縮を目的とした工法等により、最近ではあまり見られなくなってきた。環境対策が重要視される近年、結露が発生しない優れた吸放湿性やリサイクル可能な材料で資源循環性を持つ土壁は、再び見直されつつある。

日本建設情報総合センター(JACIC)九州地方センター主催の地方公共団体向け電子入札コアシテムWindow s版説明会は12日、鹿児島市の県市町村自治会館で開き、発注者側の案件登録から開札までの操作体験を行った。

発注者側が操作体験

電子入札コアシテム説明会



登録から開札までの流れを研修した説明会
＝鹿児島市の県市町村自治会館で



黙々と作業する参加者＝始良町の白濱神社で

省庁、日本道路公団、大市が16年度からコアシテムを試行する。本県で稼働中。また、福岡県、佐賀県、長崎県、北九州のところが未定。

ボランティアサポート 白濱自治会員と神社清掃

第一建設(株)(木山裕継社長、始良郡加治木町)は12日、社員7人が参加して始良郡始良町の白濱神社境内及びその周辺で、草刈りなどのボランティアサポートを実施した。国道を身近に感じてもらう、住民と触れ合う機会を持つことで公共工事へ理解を深めてほしいという国土交通省の提案に応えたもの。同社が白濱自治会へ申し入れたところ、願ってもないことと実現した。

午前8時、現地に集合した自治会員約10人を前に、同社を代表して協会の園省主任が「本日は精一杯皆さんの手助けをしたいと思います」と挨拶。限元四雄同自治会長は「指示で、それぞれ作業場所へと移動した。」

草刈り機を手にした参加者は、神社やその周辺約1畝で、生い茂った雑草を払い、境内を掃き清め、またこま犬や献灯をブラシで洗い流すなど、黙々と作業を続けていた。限元会長は「15日には年1回の神祭が開催されることになっており、若い人達が来てくれて本当に助かり、ありがたい。おかげできれいになりました」と笑顔を見せていた。作業合間の休憩時間には、婦人部手作りの芋のてんぷら「がね」や漬物に疲れをいやすつつ、談笑するなど、和やかに地域との交流を楽しむ風景も見られた。



ナンコ大会で盛り上がった忘年会
＝鹿屋市のホテルさつき苑で

上之段勝雄青年部長(株上之段建設)が司会進行、初めに三宅支部長が「新支部長として半年が過ぎ皆さんの協力に感謝しています。来たる年の飛躍を願って今夜は楽しく過ごしてください」と挨拶。来賓紹介、祝電披露の後、乾杯で宴が始まった。情報交換などで交流を深めながらナンコ大会やお楽しみ抽選会でも盛り上がり楽しいひとときを過ごし、1年の労をねぎらった。

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
098-227-5100へ

士会鹿屋肝属支部 忘年

1年の労をねぎらう

県建築士会鹿屋肝属支部(三宅廣則支部長)は11日、鹿屋市のホテルさつき苑で会員、関係会社、発注機関や国・県議員ら約95人が出席して恒例の忘年会を開催。ナンコ大会や抽選会などで和気あいあいのひとときを過ごし、労をねぎらった。